

## 業務実績報告書

提出日 2020 年 1 月 21 日

1. 職名・氏名 助教 金柏仁美

2. 学位 学位 修士、専門分野 看護学、授与機関 福井県立大学、授与年月 2016年3月

## 3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 小児看護学（2単位 毎年開講） 学部2年次生（2015年～）	
②内容・ねらい（自由記述） 様々な発達段階や健康障害と、その段階にある子どもの適切な看護を行うための基本となる考え方や看護技術について学ぶことをねらいとしている。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 小児看護に必要な考え方と技術の使い方、活かし方を身につけるために、科学的看護論を基盤に典型例による看護過程の展開、及び小児看護技術演習の2部構成で展開している。他人との認識の突き合わせを行えるように、グループワークの時間を多く取り入れている。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 小児看護実習（2単位 毎年開講） 学部3年次生（2015年～）	
②内容・ねらい 子どもの成長発達や健康レベルに応じた看護を実践できる能力を修得することを目的としている。また、臨地実習を自己の看護実践能力を鍛える学習過程と位置づけ、各自が課題意識を持って主体的に取り組むことを目指している。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生が、子どもの成長発達及び健康障害が子どもの身体・こころ・社会関係に及ぼす影響を理解し、より健康に育まれるよう子どものもてる力を活かしながら看護を実践し、評価する看護実践能力の修得ができるように、個別指導やグループカンファレンスを取り入れている。また、学生が各々の課題意識をもって主体的に取り組めるように、実習前の自己目標の設定と実習後の自己評価を行っている。2016年より、適宜、実習病棟の臨床指導者と学生指導の振り返りを実施している。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 小児看護発展セミナー（2単位 毎年開講） 学部4年次生（2018年～）	
②内容・ねらい 選択したテーマに関する文献検討を行い、調査の目的を明確にできる。調査時は倫理的配慮を履行しつつ、必要な情報収集をすることができる。各自の調査内容をグループメンバーに伝えるようにプレゼンテーションできる。ディスカッションを通して選択したテーマについて内容を深めることができる。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 「子どもの成長・発達と看護」というテーマを設定しているが、学生が主体的に取り組むことができるように、細かな調査目的は学生が選択できるようにしている。2日間、福祉型児童発達支援センターでの保育に参加したり、保育士や看護師と面接したりすることによって、学びを深めるようにしている。調査後は、グループディスカッションを多く取り入れることによって、学生個々の学びを深められるようにしている。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎看護学実習Ⅱ（2単位 毎年開講） 学部2年次生（2015年～）	
②内容・ねらい 対象の個別に則した看護を認識し、計画的に看護を実践、評価するという看護過程を展開するための基本的能力を修得することを目的としている。	

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 学生が学内で学んだ看護技術や看護実践能力を、対象の個別性に合わせて実践、評価できるように、個別指導やグループカンファレンスを取り入れている。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 卒業研究（3単位 毎年開講） 学部4年次生（2017年度～）
②内容・ねらい 自ら探求する態度と、研究能力の基礎を身につけることを目的としている。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 グループで文献検討や計画検討をおこないながら、研究方法の学習や研究課題の明確化ができるように支援している。研究計画書作成後は、学生が問題なく調査をすすめられるよう個別に面談をおこなっている。研究論文としてまとめる過程では、週1回程度の教員との個別面談だけでなく、他の学生との意見交換ができるように中間発表会を実施している。
(2)非常勤講師担当科目
①担当科目名（単位数） 開講学校名
②内容・ねらい（自由記述）
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
④本学における業務との関連性（自由記述）
(3)その他の教育活動
内容

#### 4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①論文
②著書
③学会報告等 ・ 幼児後期の子どもの歯磨き習慣と仕上げ磨きの実態、白崎友莉華、金粕仁美、赤川晴美、第64回福井県小児保健協会学術集会（2020年2月発表予定、福井） ・ 妊娠期の母親の不安・抑うつ症状と子どもの在胎週数・出生体重との関連、金粕仁美、岡野尚子、渡邊浩子、第34回日本助産学会学術集会（2020年3月発表予定、新潟）
④その他の公表実績
(2)学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動（担当報告名、担当学会（大会）名（開催年月日））
学会での役職など（学会名）
学会・分科会の開催運営（担当学会（大会）名（開催年月日）、開催場所） ・ 日本看護研究学会近畿・北陸地方会 広報委員会、ニュースレター担当（2018～） ・ 第33回日本看護研究学会近畿・北陸地方会学術集会実行委員、2018年
(3)研究会活動等
①その他の研究活動参加（参加研究会名、調査活動名（期間））

②その活動による成果
(4)外部資金・競争的資金獲得実績
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年度 福井県立大学競争的資金 (B 枠) 研究代表者 77.2 万円</li> <li>・2018～2020年度 科学研究費助成基金若手研究 研究代表者 260 万円</li> </ul>
(5)特許出願

## 5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
①国・地方公共団体等の委員会・審議会 (それぞれの名称、業務内容、担当期間)
②国・地方公共団体等の調査受託等 (それぞれの名称、業務内容、活動期間)
③ (公益性の強い) NPO・NGO 法人への参加 (それぞれの名称と活動内容、活動期間)
④ (兼業規程で業務と見なされる範囲内での) 企業等での活動 (企業名、活動内容、活動期間)
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県看護協会、看護基礎教育検討委員会 (2019 年)</li> </ul>
⑥その他 (名称、活動場所、活動期間)
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講 (タイトル名、開催場所、開催日時)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパス (医療を受ける子どものプレパレーション、2017 年 8 月 6 日)</li> </ul>
②社会人・高校生向けの講座 (タイトル名、開催場所、開催日時)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開放講義、丸岡高校 (2019 年 10 月)</li> </ul>
③その他 (名称、活動場所、活動期間)
(3)その他 (個人の資格で参加している社会活動等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際認定ラクテーションコンサルタント (認定 2012 年、再認定 2017 年)</li> <li>・アドバンス助産師 (認定 2015 年)</li> <li>・新生児蘇生法「一次」インストラクター (認定 2015 年)</li> <li>・福井大県小児糖尿病サマーキャンプボランティア (2016 年～)</li> </ul>

## 6. 大学の管理・運営

(1)役職 (副学長、部局長、学科長)
(2)委員会・チーム活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィンドレー大学交換留学 WG : メンバー (2016～)</li> <li>・実習検討委員会 : 委員 (2016 年～)</li> <li>・看護学科親睦係 (2016 年～)</li> <li>・3 年生学年副担任 (2017 年)</li> <li>・4 年生学年副担任 (2018 年)</li> </ul>
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など